

## 蘇原地区まちづくり懇談会(新庁舎整備事業)

### 【質疑応答記録】

日 時：令和4年11月9日(水)

19:30~21:20

場 所：蘇原ふれあいセンター  
大研修室

参加者：34名

凡例	：質問・意見	：白川町	：設計事務所
----	--------	------	--------

#### <質疑応答>

職員の駐車場はどこか。

現庁舎の駐車場を使い、職員は、新庁舎まで歩いていく予定。

身体の不自由な人などが、2階へ行けるように、スロープを付けてほしい。

だれでも気軽に2階へ行けるようにエレベーター(13人乗)を計画している。

2階の部署に用事があっても、窓口の職員に声をかけてもらえれば、職員が1階へ降りていき、対応するような運用をしていきたいと考えている。

現庁舎の耐震性能が0.07から0.79という話があったが、新庁舎の耐震性能はどのくらいか。

耐震性能は、庁舎、拠点病院相当の0.9以上としている。耐震安全性の分類は 類。大きな震災が起きても構造の補修をすることなく安全に使用できる数値。1階をRC造にすることで、もし浸水したとしても建物へのダメージを最小限にでき、早く復旧することができる。

今現在の新庁舎整備の中で、不安材料はあるか。

ホワイトメゾンからの見え方などが、今現在考えている対策で十分かどうか心配である。

白川テラスに事故等で車が進入してきて、歩行者及び庁舎に危険がおよぶことはないか。

歩道整備については県と協議を進めている。今のところガードレールを設置するように指示があった。歩行者が安全に通行できるように検討していきたい。

新庁舎が出来ると堀通りの通行量が増えると思われるが、商店等があり駐車している車が見られるため、危なくならないか。

運用しながら様子を見て警察と協議するなど対応していきたい。

非常発電機的能力はどのくらいか。また騒音対策や排ガス対策はどう考えているか。

2階の室内に設置することと、マフラーを防音タイプにすることで、騒音・排ガスを抑える計画。サーバー室と一部の諸室を賄う能力としている。72時間稼働できるように、地下タンクに軽油を貯蔵する。

現庁舎と新庁舎の床面積はどのくらいか。また3階建は、検討したか。

現庁舎 2,290 m<sup>2</sup>、新庁舎 2,600 m<sup>2</sup>。3階建でもプロポーザル時に検討した。木造でも3階建は建てられるが、白川町の木材を使うことや、町内業者の方に多く関われる仕組みなどを考えた時に、2階建ての方が、白川町に有利であると判断して2階建てを提案した。2階建ての方が木材を多く使えることや、一般製材を使った在来工法を採用することで、町内の大工さんも関わってもらいやすくなる。また、2階建てとすることで、役場内の連携も取りやすくなると考えている。

庁舎事業には、賛成であるが、事業費はどのくらいか。

基本計画時では、総事業費18億円。基本設計時では、建築費、外構工事費で15億円程度となり、物価高騰の影響もあり少し増えている。設計費や木材調達などのその他経費を含めた総事業費は20億円程度と見込んでいる。